

## 普及活動情勢報告（平成28年7月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

### 第1回目を開催しました！ ～中山間地域の集落営農塾～



DVDによる画像での説明

6月24日、高知市鏡地域の中山間地域構造改善センターにおいて、24集落の集落協定の代表者が参加し、第1回目の中山間地域の集落営農塾を開催しました。普及所から集落営農の必要性や進め方について説明をした後、既に集落営農を行っている久万川地区集落協定営農組合の取り組みの説明を受けました。内容をイメージし易いように、組合員自らが作成したDVDを見た後、組合代表者とインタビュー形式で集落営農組合の魅力について語ってもらいました。会場からは地域に応じた集落営農にぜひ取り組んでいきたいといった意見も出されました。

引き続き、普及所は条件の異なる中山間地域と平場地域を分けて集落営農の取り組みを支援していきます。

### Let's 炭そ病対策！これからは本番 ～JA高知市介良支所苺部 現地検討会～



現地巡回で育苗状況を確認

6月29日、高知市介良で、生産者11名の参加で現地検討会を開催しました。参加者全員の現地圃場を巡回し、育苗や栽培管理の状況を生産者同志で確認しました。普及所からは、最も重要な病害である炭そ病対策について説明しました。

参加した生産者からは、「天候に気をつけて炭そ病の対策を頑張る」「追肥遅れにならないようにする」といった声が聞かれ、育苗管理の重要性について全員で再確認ができました。

今後も、普及所はJAと協力して育苗状態の確認を行い、炭そ病の無い良質苗の確保を図ります。

### 就農支援、一層力入れて行きます ～JA高知春野キュウリ部会意見交換会～



熱心な協議が継続中

7月5日、JA高知春野にて、指導農業士や部会役員、新規就農者、関係機関の28名の参加で「JA高知春キュウリ部会就農支援意見交換会」が開催されました。

新規就農者の確保のための具体的な取組を関係者が一同で協議する会で、今回は「親元就農」もふまえた産地提案書の見直しや、地域受入体制支援事業に部会として取り組むこと、就農支援をより一層進めることなど熱心な協議が行われました。

普及所は、JAと連携して8月から新しい研修生の受け入れや新規就農者向けの「経営・栽培基礎研修」を行い支援していきます。

長浜ユリ産地の担い手確保に向けて ～産地提案型農業体験ツアーの開催～



説明を受けるツアー参加者

昨年から長浜支所園芸部花卉部会は、産地提案書を作成し、産地の維持発展に向けた担い手確保に努めています。7月10日に、就農希望者8人を対象とした産地体験ツアーを開催し、ユリの収穫体験の他、経営面での工夫、農家の暮らしについて紹介しました。

普及所は、当日までの調整・準備の他、就農した場合の支援体制や、長浜の農業ならではの魅力を説明し、より具体的な就農のイメージづくりや、スムーズな就農に向けたPRを行いました。

今後も普及所では、地域の特徴を生かした農業をPRし、担い手確保に向けて支援していきます。

選ばれるユリ産地のために！ ～年間作付け計画を作成～



植付け計画を検討する生産者

7月14日、JA高知市長浜支所園芸部花卉部会では、生産者全9戸が参加し、植付け計画の検討会を開催しました。普及所が作成した年間出荷計画をもとに、主力品種の他、白・ピンク系品種が、需要期に応じて切れ目なく安定出荷できるかを確認しました。

参加者からは、種苗会社の球根予約状況から、次年度の品種構成の傾向や、出荷が過剰になりそうな時期を予測し、栽培計画に活かしたいとの声があり、より安定的に販売するための対策も検討されました。

今後は、定植後の栽培管理指導を継続し、計画的な出荷に向けて支援していきます。

「6次産業化に取り組む人を増やそう！」 ～6次産業化入門講座を開催～



講演を聞き入る組合員

7月22日、JA高知市本所にて、直販所の組合員19名の参加で、6次産業化入門講座を開催しました。(株)こうち暮らしの楽校の松田高政氏の講演「直販所の売り上げに欠かせない加工品開発の取り組みについて」を受講しました。

普及所は高知市直販所連絡会に、6次産業化普及活動推進事業を活用した講座の開催を持ちかけ、準備を進めてきました。

その後、違う直販所の組合員間で意見交換する時間も設け、「漬物名人はいないか」、「加工に取り組んでみたい」などの意見がで、受講して加工を業者に委託する選択肢もあることが理解されたようでした。今後は、アンケートで「個別相談希望」と回答された方に対応していきます。